



■講習会・セミナー・見学会

●講習会
今年度事業の成果物が整い、年明けから年度末にかけて、各種の講習会が全国の主要都市で順次開催されます。詳細はホームページ等で案内します。

「JBN長期ちきゅう住宅国産材モデル型式認定(手刻み型)工法」利用講習会

接合部の継手・仕口を手刻みとする工法の長期優良住宅型式認定を取得し、マニュアル(解説編と申請編)、「手刻みの基本(構造編)」を刊行。これをテキストにした講習会を開催します。講習修了者には、工務店サポートセンターが修了証を発行、型式技術者として登録・管理します。

主催:工務店サポートセンター **共催:**全建総連
受講料:2,000円(料金の詳細等は、開催案内をご覧ください)
参加条件:①全建連会員又はJBN会員 ②建築士資格所持者
③技能者(大工)も同時受講

2012年開催日 定員 開催地・会場
1月18日(水) 80名 埼玉県大宮市・ソニックシティビル棟6F603会議室

1月19日(木) 50名 愛知県豊橋市・名豊ビル本館7階ホールA
1月25日(水) 50名 山口県山口市・山口県セミナーパーク201研修室

1月26日(木) 50名 熊本県熊本市・国際交流会館第3会議室
2月 3日(金) 50名 徳島県徳島市・サンシャイン徳島アネックス
問合せ:事務局 島田・坂口

「JBN耐震診断改修施工指導者」講習会(2日間連続)

耐震診断から補強までをおこなえる実務者を養成することを目的に講習会を実施し、これまでに900名以上の資格認定者を数えます。

主催:日本建築防災協会・工務店サポートセンター
2012年開催日 定員 開催地・会場名
1月17・18日 50名 新潟県新潟市・新潟テルサ2F中会議室
1月25・26日 50名 富山県富山市・富山県総合情報センター

2月 4・5日 50名 秋田県秋田市・秋田市内在予定
2月 7・8日 50名 愛知県名古屋・愛知県建設組合連合会議室
1日目9:50~16:40「木造住宅の耐震診断・耐震補強技術者養成講習」
2日目9:00~18:00「JBN耐震診断施工指導者講習」

受講料:1名10,000円
参加条件:①全建連会員又はJBN会員 ②建築士資格保持者
資格証:1日目・2日目に(財)日本建築防災協会の修了証が発行。
2日間受講の審査試験合格者には「JBN耐震診断改修施工指導者認定証」を交付

問合せ:事務局 坂口

「増改築相談員」研修会(新規)

主催:工務店サポートセンター **共催:**信州木造住宅協会
受講資格:施工実務経験10年以上
受講料:30,000円(テキスト代込み)
開催日時:平成24年2月23日(木) 9:00~19:30(予定)

会場:信州スカイパーク アルウィン会議室
問合せ:事務局 坂口

●発行/お問い合わせ
一般社団法人 工務店サポートセンター
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町12-4 建設国保会館1階
TEL.03-5643-5668 FAX.03-5643-5669
E-mail: jbn@jbn-support.jp homepage: http://www.jbn-support.jp
発行人: 藤澤好一 ©工務店サポートセンター 禁無断転載
協力: 社団法人 全国中小建築工事業団体連合会



FSC® 森林認証紙と植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しました。また、環境保全活動を積極的に推進するグリーンプリンティング認定工場で製造しました。

「特例住宅リフォームカウンセラー認定資格者」講習会

主催:東海木造住宅協会・工務店サポートセンター
開催日時:平成24年1月16日 13:30~16:30(予定)
受講料:25,000円 **会場:**愛知県産業労働センター(ウインクあいち)
受講資格:建築士・建築施工管理技士・建築大工技能士・ちきゅう住宅検査員等の資格所持者

問合せ:事務局 坂口

「木造住宅・工事管理の実務」講習会

主催:工務店サポートセンター・東海木造住宅協会
共催:愛知県建設団体協議会
開催日時:平成24年2月1日(水) 13:00~17:00(予定)
会場:岐阜市商工会議所 **定員:**40名
受講料:1,000円 **受講資格:**全建連会員またはJBN会員

問合せ:事務局 坂口

「JBNバリアフリー改修からはじめるリフォーム」講習会

国土交通省「高齢者居住安定化モデル事業」の成果をもとにバリアフリー改修のための指針・事例集を刊行しました。これらをテキストに、バリアフリー改修のための計画・設計のポイント、施工に関する管理ポイントなどについて講習会を開催します。

主催:工務店サポートセンター
2012年開催日 定員 開催地・会場

1月24日(火) 50名 広島市・広島市まちづくり市民交流プラザ
26日(木) 80名 名古屋市・名古屋国際センター
30日(月) 50名 新潟市・新潟テルサ

31日(火) 70名 千葉市・会場調整中
2月1日(水) 50名 高知市・高知市共催会館
2月3日(金) 50名 宮崎市・JA AZMホール別館

受講料:無料 **受講資格:**全建連会員またはJBN会員
問合せ:事務局 坂口・小林

「JBN長期ちきゅう住宅国産材モデル型式認定(プレカット型)工法」利用講習会(Ⅱ・Ⅲ地域対応)

Ⅱ・Ⅲ地域対応の講習会を開催します。
日時:平成24年2月16日(木) 10:00~17:00(予定)
会場:秋田県秋田市内(予定) 詳細はHPにて

「木造住宅の防耐火・JBN仕様」利用講習会

省令準耐火JBN仕様、外壁板張りJBN大臣認定仕様などをもとに木造住宅の防耐火性能に関する設計施工指針をとりまとめ中です。これをテキストに下記、日程・開催地で講習会を予定しています。

主催:工務店サポートセンター
2月10日(金)東京、13日(月)熊本、14日(火)名古屋、15日(水)大阪、16日(木)広島、18日(土)札幌
詳細はHP等にて

問合せ:事務局 永山 島田

●各種講習会のお申し込み
工務店サポートセンターHP→http://www.jbn-support.jp/よりお申し込み下さい。

JBN 会員登録募集

全国の工務店の力を結集するための組織がJBNです。「地域から必要とされ、信頼される工務店」のために工務店サポートセンターがさまざまな面から支援します。

暮 節 記 (ぼやき)

関東大震災翌年は年賀郵便の特別扱いが中止された。特別扱いというのは年末の一定期間に投函すれば元旦に配達される制度。始まって約100年、年賀はがきで新年のあいさつを手軽に送れるようになって定着した日本的風習。制度のねらいは通常の郵便業務の混乱回避だったとか。この新年は、どんな文言の年賀状を手にとられたら。新年を謹賀、恭賀、敬頌などで飾った文字に代わって、3.11に配慮した絆、新などが、増えそうということだったが。謹(つつし)んで、恭(うやうや)しく、敬(うやま)つて、というのは新年ではなく、送る相手に対するもの。この礼節は、年賀はがきの普及と無関係ではあるまい。いまやメールで瞬時に届く時代だ。新しい年を迎え、新たな思い、所感を表現する文字、言葉を見直すいい機会かもしれない。本誌トップページのカット文字に悩んだゆえのボヤキ。(F)

工務店サポートセンター レポート



■JBN会員数(2011年11月末日現在) 正会員 1,832社、協力会員 76社、情報会員 32社

- 新年のご挨拶
- 事業報告・委員会報告
- 委員長の年頭所感
- お知らせ

■「いえもり」かるて」登録累計数(2011年11月末日現在) 3,454件

2012 January No.30 1月号
発行人: 藤澤好一
©工務店サポートセンター 禁無断転載



新年あけましておめでとうございます。昨年「3.11 東日本大震災」という大災害を経験し、地域工務店の家づくりについて根本から考えさせられた年でした。今年は大地震に加えて津波、原発事故と3.11以降の家づくりについて我々の役割は何かを真剣に考える年になると思います。JBN・工務店サポートセンターでは、東日本大震災の災害救助法による応急仮設住宅建設を木造在来工法で東北3県に約850戸作りました。従来プレハブが主体であった取り組みのテーマは、地域にお金を廻したい/地域の仕事の獲得/地域材の利用/在来工法の強み/長期優良住宅の性能他で、資材不足の中工事にあつたJBN会員工務店の懸命の頑張り、工期(3週間以内)、価格、性能とも他と比較して遜色なく、みごと完成することが出来ました。この頑張りは他の地域工務店の自信にもつながったと大変感謝しております。本プロジェクトの成功要因は、施工に当たったJBN工務店の長期優良住宅施工経験/全建総連の技能者供給事業との提携/ネットワークによる資材の確保/サポートセンターによる設計等の後方支援が考えられます。今後このしきみを生かし、工務店サポートセンターと全建総連とが一般社団法人

頑張ろう、地域工務店の新しい時代のために

全国木造建設事業協会(全木協)を設立し各都道府県と災害協定を結び、災害時に地域工務店が役に立つことをアピールしていきます。(すでに徳島県は協定締結済み)さて、工務店サポートセンターは4年目を迎え、国交省、林野庁の支援により工務店の繁栄に直結する事業として、構造現わしで省令準耐火構造/外壁板貼りの準耐火構造の大臣認定/構造材現わしで長期優良住宅の大臣認定工法/高齢者バリアフリー改修などの認定仕様などが整備され、講習会が始まっています。さらに新しい取り組みとして技術系の工務店が不得意としてきたソフト研究をめざした「マーケット委員会」、住宅以外の大型プロジェクト対応の「大型木造研究委員会」を立ち上げ、従来の委員会同様充実していきます。また、国の施策は環境問題と共に省エネへ急速に向かっています。我々の家づくりの基本は住宅本体の性能が重要で躯体の断熱性能・自然光利用・通風・国産材利用等+高性能設備機器で一步進んだZEH(ゼロエネルギーハウス)を目指し、次世代省エネルギー義務化に乗り遅れることがないように支援を行っていきたくと思います。工務店を続けるということは地域に必要とされ、技術力、技能力、ソフト対応力、情報力、持続性などが必要で、これらをすべて備えた工務店になるために工務店サポートセンターの役割はますます重要になってまいります。JBN会員の皆様大変ですが元請として生き残るため頑張りましょう。

一般社団法人 工務店サポートセンター
理事長 青木 宏之

地域住宅産業の“希望の星”として

新年あけましておめでとうございます。とはいえ昨年は、まさに国難ともいえる未曾有の被害をもたらした東日本大震災が発生し、被災地では、いまだ大勢の方々不自由な暮らしを強いられ、日々奮闘されております。衷心よりお見舞い申し上げます。今年は「復興元年」、英知と総力を結集し、難局を乗り越え、文字通り新たな年を拓いて行く、希望の年としなければなりません。一日も早く、被災された方々の暮らしを再建し、復興を推し進めなければなりません。そのためには、まず安心して暮らせる住まいの確保が第一であり、地域工務店に寄せられる期待は絶大です。特に地域に根ざした木造軸組工法の住宅は、地域材を始めとする多種多様な建材、設備、金具等の製造、流通など、幅広い地域産業を支えられており、その復興、活性化のためにも極めて大きな役割が期待されます。被災地に限らず、震災により更に急務となった省エネ、低炭素社会の実現、東海・東南海・南海地震等に備える耐震化、心豊かなコミュニティを育む住まいづくりなど、地域工務店の活躍の場は、益々広がり重要となります。これらに積極果敢に取り組むJBN会員、その支援をされる工務店サポートセンターの皆様は、まさに日本の地域住宅産業の未来を拓く“希望の星”と言えましょう。私も皆様と心を合わせ夢と希望を持って木造住宅振興施策に取り組んで参ります。特段のご協力をお願いしますとともに、皆様の益々のご活躍を祈念いたします。

国土交通省住宅局住宅生産課木造住宅振興室長 加古 貴一郎

東日本大震災で被災された全建連・JBN会員、会員団体の関係者の方々には、心よりお見舞いを申し上げます。
一般社団法人全国木造建設事業協会(全木協)の活動を支援するとともに関連機関との連絡、調整をはかりながら復興支援に努めてまいります。

活動報告

■前月号以降の活動

○第1109回 役員会 12月13日(火) 15:00~17:00
東京シティーターミナル会議室
出席者 理事3名、相談役1名、執行役員2名、事務局1名

【あいさつ】

・青木理事長
今年はJBN、本センターにとっても大激動の年だった。応急仮設木造、全木協で全建総連の連携をはじめ大きな動きがあった。事務局もこれら動きに対応できるプロパーな体制に整備し、さらなる発展を目指して新しい年に臨みたい。

・藤澤センター長

理事長の業界代表としてのさまざまな活動は、余人をもって代えがたい。それを支える体制の整備も進んでいるが、一層の連携、協力をお願いしたい。そのための情宣活動にも力をいれたい。

【主な報告】

- 1) センターレポート (No.29) 関連、委員会報告
- 2) 会員実数、住宅履歴登録数
- 3) 財務報告について
- 4) 事務所体制について 事務局員の退職等
- 5) テキスト・資料などの在庫数について

【主な議題】

- 1) 来年度のスケジュール(案)について
・役員会・運営会議・社員会・社員総会、および全国大会サポートセンター・セミナーの内容とスケジュール等については、新しい体制をふまえて改めて臨時役員会を開催し、検討することとした。
- 2) 全国木造建設事業協会について
・全国の全木協の事務局体制及び応急仮設住宅建設の主幹事会社現状が報告され、全木協の都道府県単位の協会設立規定を承認した。
- 3) その他
・委員会体制について、再確認を行った。

次回 臨時 12月22日(木) 10:00~
定例 1月17日(火) 13:00~15:00
運営会議 15:00~17:00

青木理事長の動き

2011年11月11日(金)~12月14日(水)

- 11月
- ・11日(金) 経理担当者職員面接 後関執行役員と
 - ・16日(水) 住宅保証機構・河村氏打合わせ
 - ・17日(木) アドバイザー・木村氏と打合わせ、日経HB取材
 - ・22日(火) 橋本会計経理引き継ぎ打合わせ 支援団体秋田木材加工推進機構・網理事長打合わせ
 - ・24日(木) 日刊木材新春対談-ジャパン建材会長吉田氏、ノダ合板野田氏、日刊木材社長岡田氏と
 - ・25日(金) 増改築委員会
 - ・30日(水) 全国住宅産業地域活性化協議会・熊川会長と打合わせ、安井昇氏打合わせ/住宅保証機構・河村氏打合わせ
- 12月
- ・2日(金) 国交省不動産課不動産流通市場活性化フォーラム出席、マーケット委員会正副委員長打合わせ、移住すみかえ機構と本センター委員との懇親会出席
 - ・6日(火) 橋本会計経理打合わせ、エコワークス・小山都社長らと打合せ、アルセッド・大倉氏、IBEC・青木氏と「自立循環型住宅」の打合せ
 - ・11日(日) 全建総連神奈川土建の建設産業活動者会議で講演「地域住宅産業の現状と展望」
 - ・13日(火) 役員会、その後役員会と全建総連幹部との懇親会
 - ・14日(水) 木造建築物建設促進検討会議(木のまち・木のいえ推進フォーラム幹事会)で「東日本大震災への取り組み」を報告

委員会・WG 報告

次世代の会

- 第1107回 12月5日(月) 14:00~17:00
パルシェ 7階 第3会議室(静岡)
・パンフレット作成について
・次年度の活動計画について
- 第1108回 1月25日(水) 13:00~17:00
東京シティーエアターミナル会議室
・木材の放射能汚染について(講師:林野庁)
・最近の住宅関連判例について(講師:匠法律事務所秋野先生)

国産材委員会

- 第1104回正副委員長会議12月7日(水) 15:00~
東京シティーターミナル
・委員長に日當副委員長、筆頭副委員長に榎本氏が就任
・第3回、第4回国産材委員会セミナーについて
・次年度の活動計画について
- 第1105回正副委員長会議
・次年度の活動計画案について

環境委員会

- 第1104回 11月16日(水) 14:00~17:30
東京シティーエアターミナル会議室
1.スマートグリッドとスマートハウスが住宅業界に与える影響(JIPDEC 那須野氏)
2.各種委員会報告(高田副委員長)
3.ZEHについて各社仕様説明(家づくり工房、ヤマジョウ建設、林藤ハウジング、小林建設、エコワークス)
4.H23家庭エコ診断推進基盤整備事業の概要(エコワークス)
- 第1105回 1月18日(水) 14:00~17:30予定
東京シティーエアターミナル会議室
1.定例各種委員会報告(高田副委員長)
2.委員会各社からの活動報告
3.JBNとしての省エネ住宅仕様の検討について討議(各社)
4.平成23年度第二回住宅・建築物省CO2先導事業採択提案の報告と意見交換
5.環境省の平成23年度家庭エコ診断推進基盤整備事業・民間企業等試行実施事業についての中間報告(エコワークス)

増改築委員会

- 第1108回 11月25日(金) 15:00~17:00
東京シティーエアターミナル会議室
1.JBN高齢者居住安定推進事業、今後のスケジュール
2.バリアフリー改修から始める住まいの快適リフォームのマニュアル内容の確認
3.住宅改修における写真撮影手引書の内容検討
4.来年度の委員会活動
- 第1109回 1月13日(金) 15:00~17:00予定
東京シティーエアターミナル会議室
1.JBN高齢者居住安定推進事業スケジュール
2.来年度の委員会活動

改良型木造軸組工法委員会

- 第1103回 11月28日(月) 15:00~17:00
東京シティーエアターミナル会議室
・講習会のプログラム、開催案内について
・手刻み型マニュアルの構成と内容の最終確認
・現場管理チェックシートについて
- 第1201回 2月開催予定(場所・時間未定)

大型木造研究委員会

- 準備委員会 12月26日(月) 16:00~17:00
東京シティーターミナル
・委員会運営方針について

マーケット委員会

- 設立WG 12月2日(金) 15:00-17:00
工務店サポートセンター
・不動産流通市場活性化フォーラム(2回)の報告
・今後の委員会活動とその内容についての討議

■報告

平成23年度「家庭エコ診断推進基盤整備事業・民間企業等試行実施事業(タイプA)」にJBN会員・エコワークス(株)の提案(うちエコ診断)が採択されました。本センター・環境委員会の一連の取り組みとして、試行事業が展開されます。

委員長の年頭所感

次世代の会

次世代の会は、委員会から会へと変わって2年目となりました。今年度は、テーマ「スタッフ力と受注」を掲げ、工務店経営の課題やこれからの家づくりの方向性を、スタッフ力と受注力の観点から勉強、視察を行って来ました。平成23年度は様々な変化や出来事があり、それに合わせて柔軟に活動をシフトしながら、常に新しい情報収集や情報交換を行ってきたことが、会全体に大きく役立つと思います。

今年はJBN会員全体に役立てることが出来るよう活動を拡大し、国や他団体との情報交流の場を増やして、あらゆる情報とつながりを持つ会に成長すると共に、工務店の「元気が出る会」を目指して活動していきたいと思っています。



委員長 鈴木 晴之

増改築委員会

既存住宅を良質な状態に保ち、資源の有効活用、環境負荷の低減に努める長寿命化リフォームは、耐震・省エネ・バリアフリーだけでなく、劣化対策、耐久性向上など資産価値を高め、流通を促すためにも必要とされる新しいあり方だと思われまます。そして、それらの良質な住まいへの改修・改善工事こそが、地域工務店の重要な役割と認識し、住まい手から信頼され、安心され、地域工務店にしか出来ないこと、工務店だからこそ出来ることとして評価され、報われるしくみを構築する必要があると思います。

増改築委員会はそれらの理念のもと、委員会活動に取り組んでいきます。法律、制度、税制の整備、改修、売りに伴う体制作り、果ては業界間の連帯など課題も多いなか、的確な情報を収集し、JBNとしてのシステム作り、各ツールの整備、特に顧客からの信頼につながる調査・検査・履歴・保険の一連のシステムは、早急に形成しなければならず、WGベースで整理していきたいと思っています。

また、それらの取り組みの基となり、工務店活性化支援、会員拡大にも繋がる補助事業は、地域の連帯のもと行える事業などを積極的に進めたいと思っています。工務店のあるべき姿をサポートするJBN組織活動の一端が担える増改築委員会の活動をしていきます。



委員長 玉置 敏子

環境委員会

今年は、認定省エネ住宅制度やLCCM住宅認定が始まるなど、これまでのCASBEEや自立循環型住宅設計ガイドラインなどのツールや省CO₂政策が一つの連携した制度として工務店に見え始める年です。また、住宅業界ではこぞ「ゼロエネルギー住宅」を競い始める年であり、スマートハウスが商品化される年でもあります。まさに、工務店にとってはこれまでと戦いのステージが変わる重要な年であると認識することが大切と考えています。

そのような中、環境委員会では地域工務店が容易に「ゼロエネ住宅」にチャレンジできるように、「仕様書の作成」や「省エネ・創エネ設備と外皮性能の組み合わせ表」などの作成を行っていきたくと考えています。

活動方針は、更なる情報収集と会員向けフィードバック。成果目標は、会員への市販省エネシミュレーションの紹介、ゼロエネ仕様書の環境委員会版の試作、省エネ・創エネ設備と外皮性能の組み合わせ表の作成です。今年もよろしくお願いたします。



委員長 安成 信次

国産材委員会

国産材委員会は、会員工務店の皆様が国産材を使用するためのお手伝いをする委員会です。委員会メンバーは全国の木材の生産・流通に携わっており、また、外部の有識者を顧問に招へいし、国産材を使用するためのセミナー等を会員向けに開催しています。国産材に関する情報発信も随時行っておりますのでなんなりとお問い合わせください。

今年度は、「施主に納得していただける木材の基礎知識シリーズ」として4回のセミナーを開催します。

第1回は、「施主が感銘する木材の使い方・見せ方」(京都大学大学院 仲村匡司先生)。第2回は、「木造住宅は耐震等級3で他社に差をつける」(東京都大学 大橋好光先生)でした。今年度の予定として、第3回「消費者と工務店の満足度を高めるための情報」(仮称) (筑波大学 立花敏先生)平成24年2月9日開催。第4回「防火を意識した住宅への木材利用(仮称)」(桜設計集団 安井昇先生)平成24年3月22日に開催します。



委員長 日當 和孝

大規模木造研究委員会

平成22年10月に「公共建築物等における木材利用の促進に関する法律」が施行されました。低層の公共建築物の原則木造化と、高層建築物においての内外装の木質化に国全体で取り組んでいこうという内容の法律です。

昨年はこの法律を受けた建築物が各地で芽を出しはじめました。さらに公共建築物に限らずさまざまな分野の建築物で木造化、木質化が進んでいることも見逃せません。

こういった背景の中で、大規模木造研究委員会が設置されました。当委員会は、われわれ工務店が長年つちかかってきた木造住宅の設計施工の知識、技術、経験をどのようにしてこのビジネスチャンスに結びつけていくのかを探っていきます。

国産材の使用を原則として、誰でもが利用できるような工務店サポートセンター型オープン工法の開発、普及までを目標にしています。生まれたての委員会です。ぜひ会員皆さまの参加をお待ちしています。



委員長 山田 貴敏

マーケット委員会

新年あけましておめでとうございます。

今回マーケット委員会委員長を拝命しました、小林稔政と申します。

当委員会では「大手住宅メーカーに負けない経営づくりのサポート」と、「地域工務店がとるべき既存ストック住宅対策及びビジネスモデルの構築」のために設立されました。工務店は設計や施工などのハードの技術に比べて、金融や保険、不動産などのソフト面の技術について苦手意識があります。当委員会では国や外部の協力や会員各社より情報を収集して、大手住宅メーカーに負けない経営が出来る手助けをしていきたいと考えています。そして将来的には中古住宅・リフォームが主になる住宅市場をにらみ、工務店が顧客に向けてワンストップでサービスを提供できるビジネスモデルの開発も目的にしたいと考えます。

会員の皆様のご協力とご参加頂きますようお願い申し上げます。



委員長 小林 稔政

委員募集

先月号でも報告しましたが、本センターの委員会構成に入れ替えがあり、新年より「次世代の会」以下、本欄で紹介した委員長のもとで活動します。これにともない委員の増強を行います。新設の大規模木造研究会、マーケット委員会は各6名程度、その他は若干名の応募を受け付けています。

開催回数は、年6回程度、参加交通費は自己負担、謝金なしのボランティア活動です。テーマに関心をもち、意欲的な方を歓迎します。

受付期限は本年1月末まで、お問合せは、事務局・坂口または永山まで。